

SDG s 未来都市
(2019年7月)

- 「SDG s 未来都市」に選定される。(県内初)
- さらに「健康」をキーワードとした取組みが「自治体SDGsモデル事業」に選定される。(東北初)
- モデル事業の中心事業として「全世代健康都市圏創造事業」を開始



選定授与式 (2019年7月1日)

福島県立医科大学との包括連携協定
(2021年2月)

- こどもから大人まで全ての世代の人々の健康に着目
- 相互の資源を有効に活用した協働
- 市民、福島県民の健康寿命の延伸と健康格差の縮小を図る。

福島県立医科大学との共同研究 (2022年9月～)

共同研究の実施

子育て、生活習慣病予防、介護予防、介護認定度重層化予防の分野で15テーマ実施

オンラインによる打合わせ

成果報告会

子育て・医療・介護等関係機関にて共有

研究成果を関係機関や行政の現場で活用

↓

各種サービスの向上

ターゲットを明確にした効果的なアプローチにより

健康寿命の延伸対策

関係機関や行政へのアプローチ

※サービス向上による市民へのアプローチ

随時 各種データ収集・分析

市民アンケート
(2020年12月)

各種データ収集・分析 (随時)

- 生活習慣関連 食、運動喫、喫煙、飲酒、睡眠 等
- 健診結果 受診率、メタボ率等
- 受診状況
- 死因、標準化死亡比等

健康課題の全体像作成
(2022～2023年度)

健康課題の全体像

□これまで収集・分析したデータをもとに本市健康政策の基礎となる「健康課題の全体像」を作成

全体像のデータを活用した事業展開
(2023年度～)

保健センターで活用

□2023年4月から市内4箇所に増設したセンターにて、全体像に基づく特定保健指導や健康教室等を実施

健診有所見者等へのハイリスクアプローチ

健康づくりキャンペーン

□健康課題全体像の中でも特に課題であるこどもの肥満、塩分摂取量、働く世代の運動、高齢者の社会参加等を重点項目とし、市民に行動を促すキャンペーンを実施

□健康ポータルサイトを積極的に活用

健康への無関心層等を幅広くターゲットにするポピュレーションアプローチ

データ活用研修会
(2023年1月)

データ活用と連携による健康寿命の延伸

□「健康課題の全体像」を効果的に活用するための職員研修を開催

健康ポータルサイト開設
(2022年11月)

ココカラこおりやま!

健康づくりキャンペーン「チョイケン」実施中!

□こどもから高齢者まで全世代の健康づくり・介護予防関連情報を一体的に発信

□各種健康関連データを発信



背景

- 人口減少・高齢化率上昇
- 生産年齢人口減少
- 車社会
 - 一人あたり乗用車台数 福島県 第8位 (2021年)
- 東日本大震災、福島第一原発事故 (2011年)
 - 事故後、メタボ増加傾向
- 新型コロナ流行 (2020年～)
 - ・外出自粛による健康指標の悪化
 - ・健康意識の高まり
- 国民健康保険特定健診受診率(2020年)
 - 34.8%
 - 中核市平均32.3%を上回っているが、国の目標値(60%)に達していない。
- 国民健康保険特定保健指導実施率が低い(2020年度)
 - 男性9.7% 女性12.3%

不適切な生活習慣

- 偏った食事
 - ・塩分摂取量が多い 福島県 男性ワースト1位 女性ワースト2位
 - ・朝食欠食が多い (20歳代)
- 運動不足
 - 運動習慣がない割合
 - ・子育て、働き世代が高い
- 生活習慣病のリスクを高める飲酒
 - ・男性は全国よりも高い
- 喫煙率
 - ・全国と比較して男性は40歳代が、女性は20-30歳代が突出して高い
 - ・子育て、働き世代が高い
- ストレスを感じる人の割合
 - ・子育て、働き世代が高い
 - ・男性34-50歳代のストレス解消法は飲酒が最多

生活習慣病予備群

- 郡山市国民健康保険特定健診有所見者割合(2021年度) (標準化比 全国=100)

| | 男性 | 女性 |
|-------------|----------------------|----------------------|
| BMI 25以上 | 36.1% (106.4) | 25.9% (117.6) |
| 腹囲 | 85cm以上 58.7% (105.2) | 90cm以上 23.7% (123.0) |
| 血糖 100以上 | 45.1% (139.0) | 30.8% (150.3) |
| HbA1c 5.6以上 | 58.7% (99.9) | 59.1% (103.5) |

- メタボ(予備群含む)の割合
 - 男女 全国よりも高い
- 特定健診精密検査(内科)
 - 約半数が未受診→医療につなげていない可能性
- リスクの重なり(血圧、血糖、脂質)
 - ・有所見者の半数以上が複数リスクを所持
 - ・心筋梗塞、脳梗塞、認知症につながる血圧・血糖の重なりはメタボ(予備群含む)該当者で47.1%、非該当者でも26.4%にみられる

生活習慣病

- 国民健康保険 特定健診質問票(服薬) (標準化比 全国=100) (2021年度)

| 疾病 | 男性 | 女性 |
|-------|---------------|---------------|
| 高血圧症 | 49.4% (113.7) | 38.3% (118.7) |
| 脂質異常症 | 29.2% (119.2) | 37.2% (117.2) |
| 糖尿病 | 14.9% (119.7) | 7.5% (120.0) |

- ・高血圧症、脂質異常症、糖尿病の服薬治療を受けている割合が高い。服薬ありでも値が良くない方が多い。

- 国民健康保険 外来標準化医療費の比 (全国=1) (2021年度)

| 疾病 | 男性 | 女性 |
|-------|------|------|
| 糖尿病 | 1.04 | 1.05 |
| 高血圧症 | 1.03 | 1.07 |
| 脂質異常症 | 1.00 | 1.00 |
| 脂肪肝 | 1.40 | 1.41 |
| 精神 | 1.28 | 1.24 |

- ・糖尿病、高血圧症、脂肪肝の外来医療費が高い ※生活習慣病ではないが、うつ病も高い。

重症化

- 入院患者数上位 5疾病 (2018年度) ※「その他」とつく疾病は除く

- 郡山市国民健康保険

| | |
|---|-----------|
| 1 | 高血圧性疾患 |
| 2 | 糖尿病 |
| 3 | 脂質異常症 |
| 4 | 虚血性心疾患 |
| 5 | 胃炎及び十二指腸炎 |

- 郡山市後期高齢者医療制度

| | |
|---|--------|
| 1 | 高血圧性疾患 |
| 2 | 糖尿病 |
| 3 | 虚血性心疾患 |
| 4 | 脳梗塞 |
| 5 | 肺炎 |

- ・生活習慣病が上位を占める

介護・死亡

- 平均寿命(2020年)

| | |
|----|-------|
| | 郡山市 |
| 男性 | 81.11 |
| 女性 | 87.07 |

- 健康寿命(2020年)

| | |
|----|-------|
| | 郡山市 |
| 男性 | 79.84 |
| 女性 | 84.37 |

- 標準化死亡比(全国=100) (2013年～2017年)

| 死因 | 男性 | 女性 |
|-----------|-------|-------|
| 悪性新生物 総数 | 93.0 | 96.4 |
| // 大腸 | 105.4 | 101.8 |
| 心疾患 総数 | 98.0 | 103.3 |
| // 急性心筋梗塞 | 183.0 | 197.5 |
| 脳血管疾患 総数 | 111.4 | 110.0 |
| // 脳内出血 | 103.7 | 114.1 |
| // 脳梗塞 | 120.2 | 107.9 |
| 肝疾患 | 93.5 | 112.0 |
| 腎不全 | 98.2 | 109.6 |

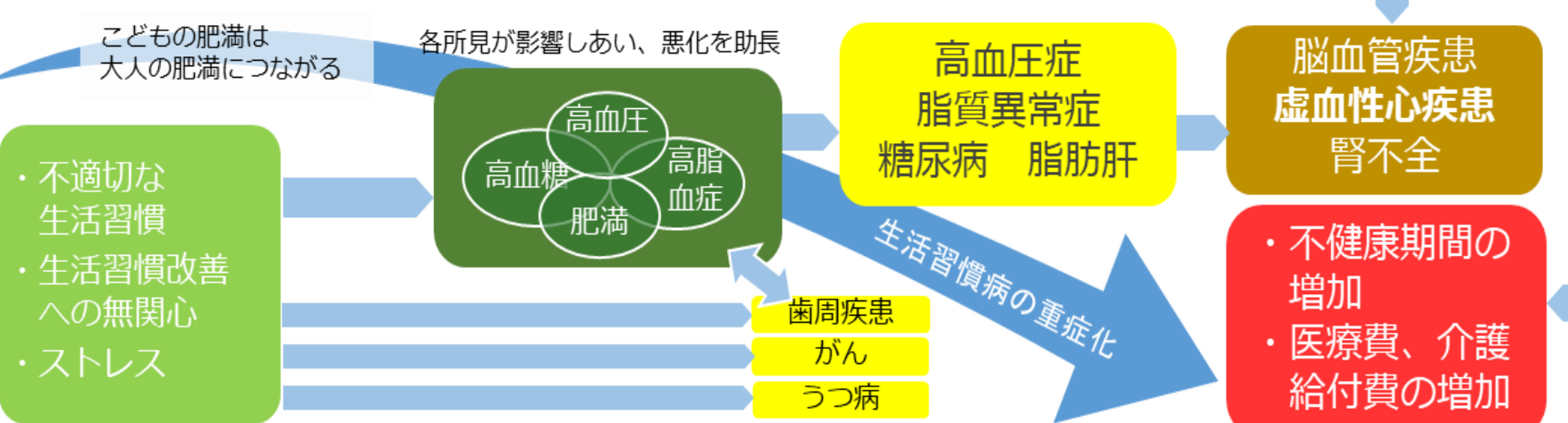
- 急性心筋梗塞による死亡率が非常に高い

こども

- 小中学生肥満率
 - 小中学生すべての学年で 全国平均よりも高い
- 小中学生 視力矯正率
 - 小中学生ともに全国平均よりも高い
- むし歯罹患率
 - ・1歳6か月・3歳・6歳児は 全国よりも高い
 - ・12歳児は全国平均と同程度

○定期的な歯科受診率
20歳代男性が最も低い

○進行した歯周炎を有する割合
全国よりも高い



○高齢者の社会参加割合(2021年)
49.0% (目標値80%)

○介護認定の要因

| 原因疾患 | 割合 |
|--------|-------|
| 認知症 | 23.6% |
| 整形外科疾患 | 19.1% |
| 脳血管疾患 | 18.1% |
| 高血圧 | 6.6% |
| 心疾患 | 4.5% |
| がん | 4.4% |
| 糖尿病 | 2.8% |
| その他 | 20.9% |

生活習慣病が約4割を占める


1.健康づくりキャンペーン

(1) 目的
健康課題及びその解決方法を市民に周知し、自身の健康に関心を持ち、健康づくりの行動へのきっかけと、定着による健康指標の改善を図り、健康寿命の延伸を目指す。

(2) 期間
2023年10月～2024年2月

(3) 方針

「ちょっと変える、ちょっと変わる。暮らしに健康をプラス～ちょこっと健康。チョイケン！」

キャッチコピー

 ちょっとかえる、
 ちょっとかわる。
 暮らしに健康をプラス。
 choi-ken
 ちょっと健康。チョイケン!

ターゲット
こどもから高齢者まで全世代
※特に不適切な生活習慣者が多い子育て・働き世代

重点項目
①食 ②運動 ③社会参加

(4) 内容

| No | 内容 |
|----|---|
| 1 | 各種メディアによる情報発信 健康課題、健康に役立つ情報、イベント情報等を随時発信 |
| 2 | Health Wave KORIYAMA(※)パネル展・健康づくり体験イベント <input type="checkbox"/> 期間 11月9日(木)～15日(水) ※健康づくりに取り組む個人・団体等のインタビューを紹介するウェブコンテンツ <input type="checkbox"/> 場所 イオンタウン郡山 <input type="checkbox"/> 体験イベント (11日(土)・12日(日)) ①ベジチェックによる野菜摂取量測定 ②親子で対決！体力テスト  |
| 3 | 高血圧予防・改善セミナー <input type="checkbox"/> 期日 11月18日(土) <input type="checkbox"/> 主催:福島放送 共催:郡山市 |
| 4 | ふくしま健民アプリ郡山市民限定企画「6,000歩を5日間歩こう！」 <input type="checkbox"/> 期間 11月18日(土)～12月3日(日) <input type="checkbox"/> 内容 ①期間中に6,000歩を合計5日間歩くとふくしま健民アプリ200ポイント獲得 ②さらに抽選で30名にあさか舞などの賞品をプレゼント  |
| 5 | 経営者向け健康づくり研修会(予定) <input type="checkbox"/> 時期 2024年2月 <input type="checkbox"/> 内容 ①郡山市の健康課題[説明] ②従業員の健康づくりの重要性(健康経営)[講座] ③従業員の健康づくりへの取り組み[事例発表]  |

2.福島県立医科大学との共同研究

(1) 2021・2022年度
①子育て
②生活習慣病予防
③フレイル予防・介護予防
④介護認定度重度化予防
の4分野で15テーマの研究を実施。

(2) 成果報告会
2022年度まで実施した研究の成果報告会を実施
期日 8月30日(水)
参加者
 こおりやま広域圏内の
 ①子育て関係者 ②医療関係者
 ③介護予防関係者 ④介護関係者
 ⑤行政 など

(3) 今後の研究
これまでの実施主体である医大、郡山市に加えて、関係団体との三者により、成果を現場で活用するための研究を実施する。
実施に向けて、現在、関係団体へアンケートを実施しており、今後研究テーマを調整する。
2024年度に2テーマ程度の研究を実施する。

<スケジュール>

